

銀漢亭日録

伊藤伊那男



炒めと獅子唐。

5月8日(木)▼今日は休養日。一日、寝たり起きたり漫画を読んだりテレビを見たり。この頃読んでいる漫画は「鬼平犯科帳」「仕掛人 藤枝梅安」「味いちもんめ」「江戸前の句」「酒のほそ道」など。

9日(金)▼「俳壇」九月号、鈴木真砂女生誕百二十年特集にエッセイ千八百字、締切より随分早いが書き上げる。数句会の選句。

10日(土)▼自句集の句の整理。類似句の排除など。十三時、「魏町会館」にて「銀漢本部句会」、五十数人。山形の生田武さん、印度から一時帰国の辻本美紗さんが挨拶に寄ってくれる。あと「一番どり」にて親睦会。

11日(日)▼終日家。自句の整理。小泉良子句集の校正。

12日(月)▼九時、「東京目白クリニック」。十二回目のGCD点滴。銀行、買物。帰宅して眠る。

13日(火)▼九時、順天堂。超音波検査、検尿、採血。十二時、齋浦先生と面談。桃子同伴。肝臓の転移癌は前回検査時とほぼ変わらず。GCDは耐性を持ってしまうていると判断しているが、抑制効果はあるのかもしれない……。成城へ戻り、杏子を呼び、「寿司あおい」で遅いランチ。今日は四時前から起きていたのので少々疲れあり、夜の「火の会」は欠席とする。夜、鰹(刺身、カルパッチョ風・菲醬油和)。

14日(水)▼(「第四十四回伊東温泉つつじ祭り全国俳句大会」)事前投句の選句(応募句七〇四句)。ヘアメイクの中川さん来てくれて思い切り短くカットして貰う。近江鮭と茄子の炊合せ。砂肝

うどんの昼食。バスで河原町四条に出て、「たつみ」、稚鮎の天婦羅と白菜漬、紅ずわいでハイリキ一杯。今日はこまで。十八時過、ホテルへ戻る。

20日(火)▼朝、エッセイ二本粗書き。十時、河原町の「六曜社」にてマーマレードトーストと茹卵と珈琲。十一時、先斗町の歌舞練場の「鴨川をどり」を見学。茶菓子の接待あり。あと京都国立博物館の国宝展。「高倉屋」で日野菜の糠漬、ひね沢庵を買う。十七時、「しん」、和田ちゃんと会食。ぐち、かます、甘海老、鰯薄造、万願寺、小芋煮、ポテトサラダ、梅茶漬。やはりこの店が合う。二十時半、ホテルへ戻る。

21日(水)▼自句集稿の整理。十時、ホテルをチェックアウト。今日は、そうだ！東寺の弘法市の日。暑いのに相当な人出。出店を散策。立休曼荼羅を拝す。朝妻力さんから「何となく近くにいるような気がして……」と電話あり。十三時の新幹線に乗る。

22日(木)▼留守の間に來ていた七句会の選句。到来の路の処理。十五時半、四谷の「修琴堂 大塚医院」。渡辺先生を訪ねる。清水旭峰先生の紹介の漢方医。冬虫夏草、蒸朝鮮人参などの煎じ薬を受ける。蛋白質を取って体重を維持するようにと。「とんかつ新宿さばてん」のトンカツ買って帰る。

23日(金)▼終日、「銀漢」七月号の選句。落煮、鰻、蚕豆。

24日(土)▼十一時、「日本橋 吉」。「纏句会」十二人。「俳句てふてふ」の食の歳時記、二編(鰻、鮓)、今井竜氏へ送る。到来の路が旨い。蚕豆。

25日(日)▼九時、「東京目白クリニック」。抗癌剤はもはや耐性を持つてしまつて効果無しとの判断でイミフィンジだけを点滴。一時間はどで終る。成城に戻つて桃子、杏子と「桂花」、海鮮焼そばの昼食。

15日(木)▼十一時、加々美先生の整体。「成城飯店の冷し中華。夜、「魏町会館」にて「銀漢句会」。二十五人ほど。

16日(金)▼十四時より、調布「アカデミー愛とびあ」の俳句講話。近江の俳句と食物の続き。あと喫茶店で歓談。「銀漢」の仲間の応援は嬉しい。仙川で釜揚げうどんを買う。今日は夜中三時位から起きていたので帰宅してそのまま寝てしまう。

17日(土)▼十一時、順天堂。石川先生。桃子と遺伝子パネル検査の結果を聞く。遺伝子に異常は無く、つまり治療の手懸りは無しという結論。重粒子線や自由診療の薬についてなど、セカンドオピニオンを求めるように聞く。打つ手……。無しか。

18日(日)▼朝、新横浜駅から新幹線に乗車。シウマイ弁当の朝食。京都經由で奈良。十一時半位には奈良国立博物館に入る。「超国宝」展。券は畑中君が用意してくれる。百済観音、円城寺の大日如来、何と深大寺の白鳳仏……。あと春日大社の「春日荷茶屋」で深川知子さんと会う。積もる話。十七時過、京都。四条西洞院の「スマイルホテル京都四条」に荷を解く。十八時、「御所南 かまた」。和田ちゃん、川村悦子さんと会食。太刀魚の皮を焙つた刺身。若鮎の塩焼、蜆島賊のこはんなどが印象深い。ただちよつと手を掛け過ぎか。二十一時過にはホテルに戻る。

19日(月)▼九時、「高木珈琲店」の朝食。地下鉄を乗り継いで蹴上の金地院。東照宮と枯山水の庭でゆっくり過す。午後、「京都市平安京創生館」(京都アスニー)。初めて行つてみたが、平安京の模型(千分の一)やビデオなど歴史好きには見逃せない充実した施設。無料。ボランティアガイドさんもあり、大声で宣伝したい！白梅町に出て「澤屋」で栗餅を買う。上七軒の「ふた葉」できつね

27日(火)▼「伊東温泉つつじ祭り全国俳句大会」の講演の準備。「茶の苦惱」。数句会の選句。メロン旨い。

28日(水)▼東北新幹線にて昼過ぎ盛岡駅着。兄夫婦、亡妻の妹の夫君、五日市さんとの恒例の東北の旅。夏場、郷里の久慈に住む五日市さんの車と一緒に津軽半島金木町の「太宰治記念館 斜陽館」へ。高校時代に心酔した作家に感慨一入。弘前城の堀の周りを少し見て、岩木山の裏側から日本海沿いに「黄金崎 不老不死温泉」へ。日本海の落日、あちこちの落日を見て来たが、これほど幻想的な風景は初めて。

29日(木)▼今日も快晴。昨日は二回、内湯に入る。今日は五時、磯に突き出た露天風呂へ。鉄分の多い湯質は、有馬温泉と似ている。朝食、しつかり取り、もう一回内湯。九時、出発。大湯村(八郎湯の埋立地)から男鹿半島經由、角館を散策。「お食事処 ふきや」で稲庭うどんの昼食。八幡平に入り、玉川温泉を覗いて「藤七温泉彩雲荘」へ荷を解く。廊下が傾いており、部屋の畳も二枚傾いている。内湯の湯船も傾いている。外湯は七つほどあり、白濁良質の湯。周囲は残雪。夕食の座敷も両側が傾いていて緩やかな八幡平のよう。山菜づくしの料理は嬉しい。みず、しどけ、穂の芽、姫竹、山女焼、ぜんまい、落味噌、きりたんぼ鍋……。寝る前に外湯。三日月がよい。

30日(金)▼四時超、温泉。五時発で五日市さんの車で盛岡駅へ送つて貰う。新幹線で八時には古川駅着。タリーズで寛ぐ。清人、政、近恵、小石、うさぎ、まほさんと合流。清人車で最上町堺田の封人の家を訪ねる。山刀伐峠の入口で芭蕉を偲ぶ。延齢草が咲いている。「おおう牧場」で蕎麦の昼食。尿前の関跡を経て、一関の「@ビジネスホテル一関」に投宿。町で夕食。